

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■組立て上のお願

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 本説明書と取付け部品セット(袋ごと)は、必ず施工される方へお渡しください。

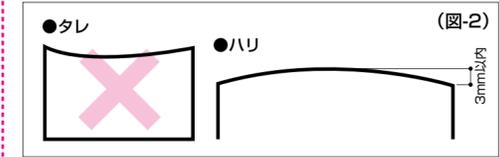
■施工上のお願

- 本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシ枠の組立て・取付けはシャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないようにしてください。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはく離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

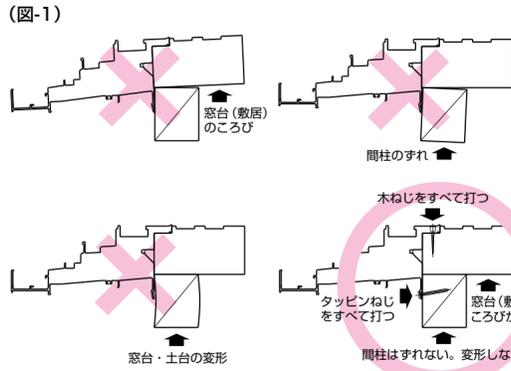
▲注意

- 本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
- シャッター本体の脱落・変形による作動不良・漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・本製品は木造用です。ALC鉄骨造・RC造などに取り付けしないでください。
- ・シャッター本体は必ず外壁仕上げ前に直接構造体に取り付けてください。
- ・開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
- ・必ず指定のスクリーナ・木ねじで枠を固定した後、障子を建て込んでください。
- ・付け柱をまぐさ上部のブラケット(シャッター取付け用)取付け部に取り付けてください。付け柱がないとブラケットが固定できません。
- ・ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。
- ・シャッターが連窓の場合は、吊り束を取り付けてください。吊り束には最大60kgの重量がかかりますので、120×90mm以上の木材を使用してください。

- 障子の落下防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で確実に開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがあります。
- ・取付けねじを締め付けて固定してください。下枠が外側にころび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。(図-1)
- ・上枠のハリは3mm以内に抑え、タレはないようにしてください。障子落下・開閉障害の原因になります。(図-2)



- ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・縦枠両端に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



■組立て・取付け部品・ねじ一覧表

①	②	③	④	⑤	⑥
φ4×25バインドッピンねじ	縦枠下部キャップ(左・右)	プッシュボタン	φ4×35皿タッピンねじ	φ3.8×20丸木ねじ	φ3.8×32下枠アングル固定段付き皿木ねじ

■組立て・取付け順序

1 付け柱の取付け

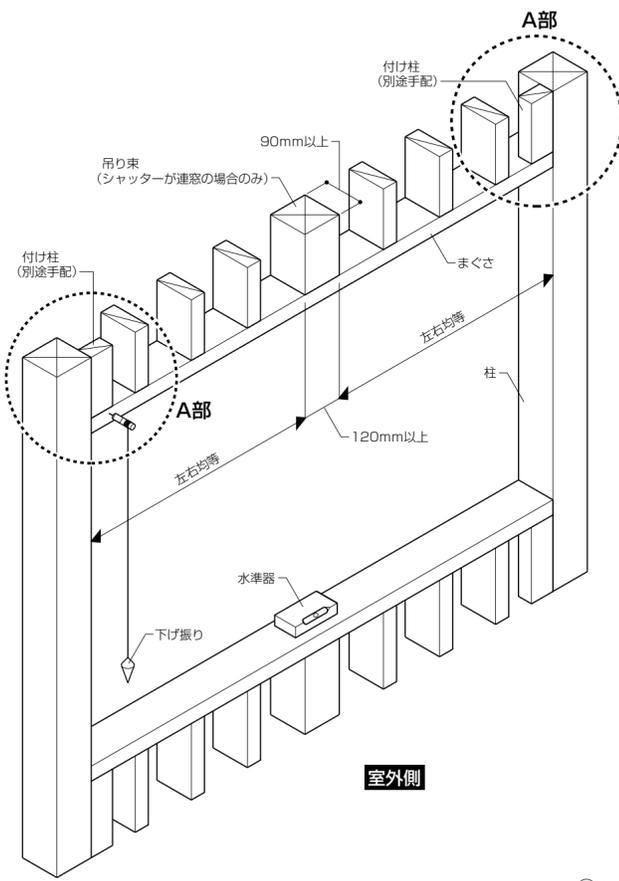
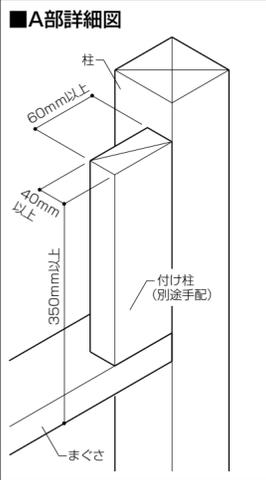
- 柱寸法に合わせて、まぐさ上部(両端)に付け柱を取り付けます。(A部)

- ▲注意
- 付け柱は、必ず取り付けてください。ブラケットが固定できず、本体の脱落・変形による作動不良の原因になります。
- ブラケット取付け面は必ず平らにしてください。本体が正しく固定できず、雨漏りの原因になります。

- ※付け柱は、柱と室外側を面一にしてください。
- ※ブラケットは、シャッター本体に同梱されています。

- ▲注意
- シャッターが連窓の場合は、吊り束を取り付けてください。吊り束には最大60kgの重量がかかりますので、120×90mm以上の木材を使用してください。本体の脱落・変形による作動不良の原因になります。

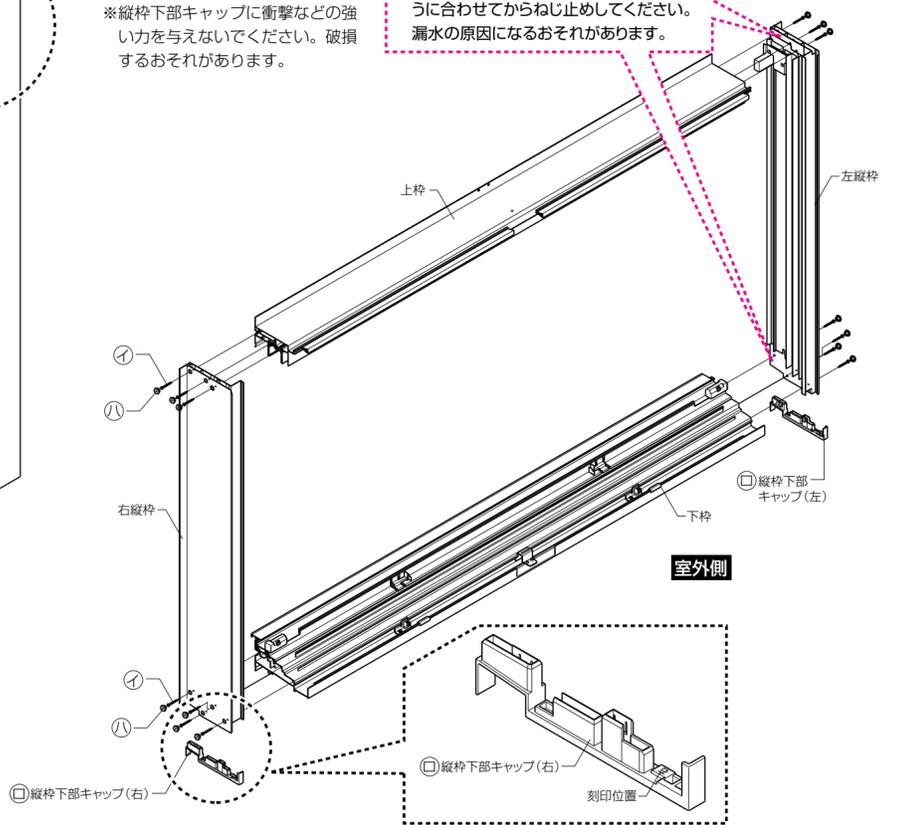
- ※吊り束は左右均等の位置に取り付けてください。



2 サッシ枠の組立て

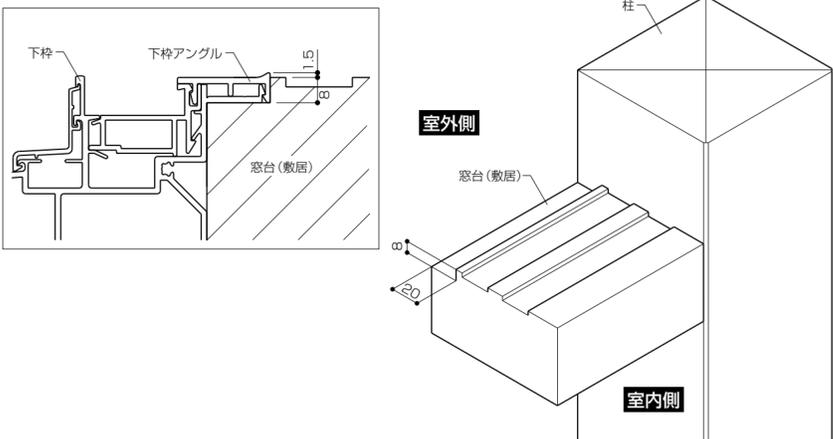
- ①サッシ枠を組み立てます。
- ②縦枠下部キャップの左右を、刻印で確認します。
- ③縦枠に差し込みます。

- ▲注意
- 縦枠両端に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



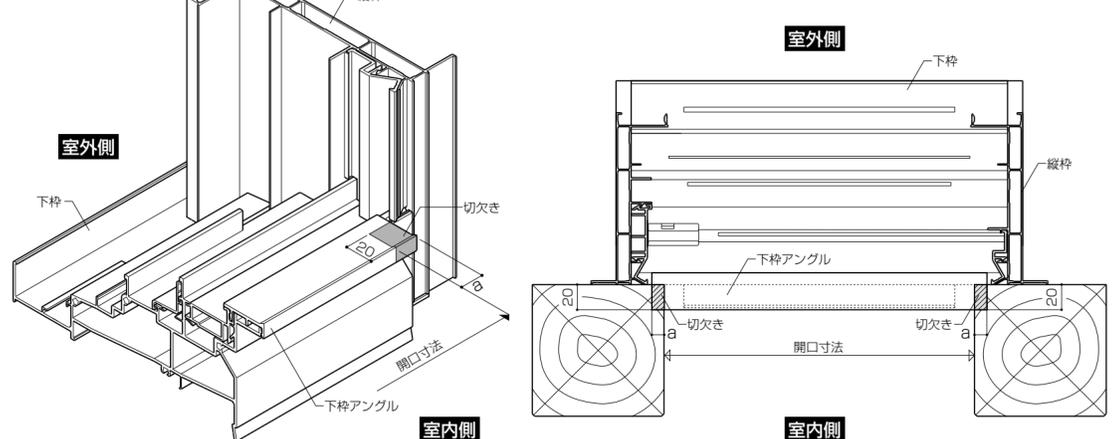
3 躯体の加工

- 窓台(敷居)に下枠アングルの取付け溝を掘り込みます。



4 下枠アングルの切断

- 開口部に合わせて下枠アングルの切り欠きを切ります。



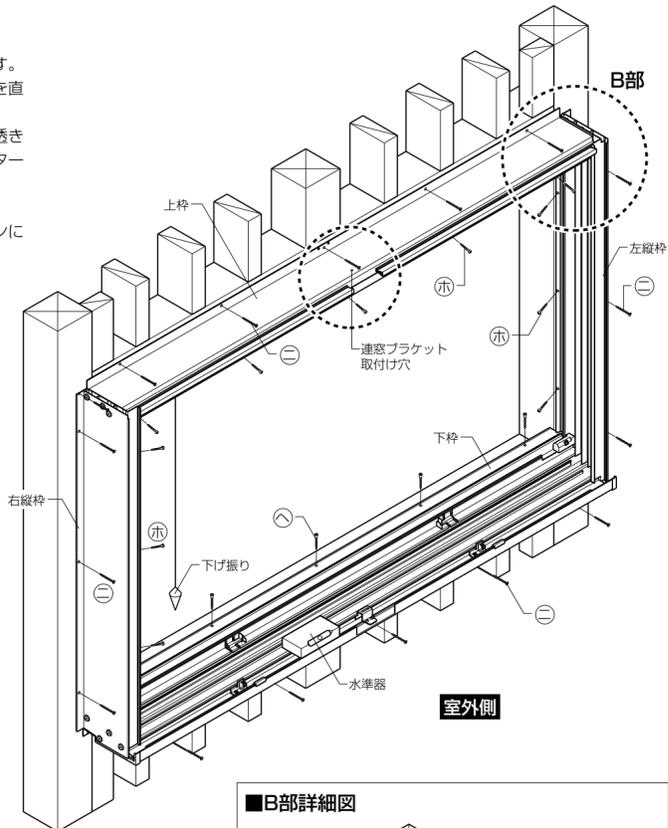
組立て・取付け順序

5 サッシ枠の取付け

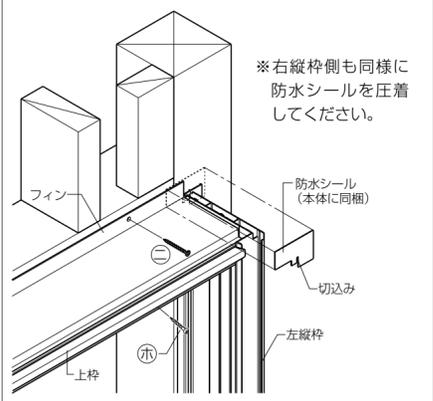
- ①サッシ枠の取付け位置を決めます。
 - ②開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
 - ③下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※縦枠の倒れ・上下枠の反り・躯体と下枠の間の透き間は、かいもの等で調整してください。シャッター作動不良や取付け不可の原因となります。
- ④防水シール(本体に同梱)の左右を確認します。
 - ⑤切込みを縦枠に合わせ、縦枠上部と上枠のフィンに透き間なく防水シールを圧着します。(B部)

▲注意

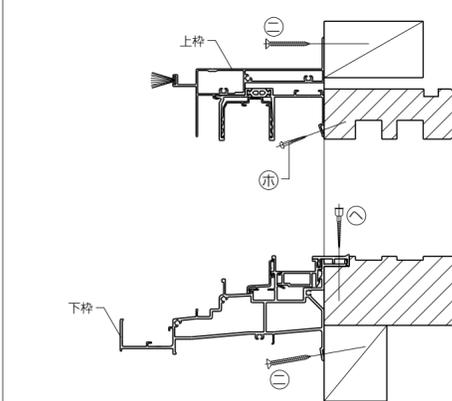
- 取付けねじを締め付けて固定してください。下枠が外側にこぼり、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。



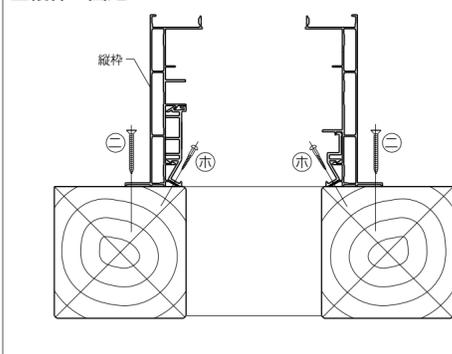
■B部詳細図



■上下枠の固定



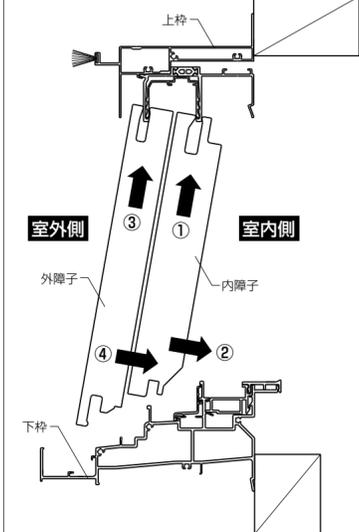
■縦枠の固定



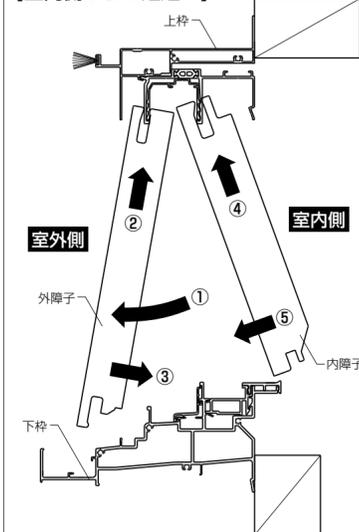
6 障子の建込み

- 下部の手順で障子を入れます。
- ※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】



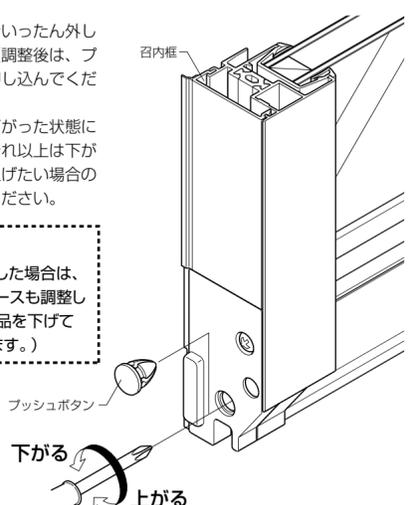
【室内側からの建込み】



■建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。



■お願い

- ※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げた透き間をなくします。)

■クレセント調整

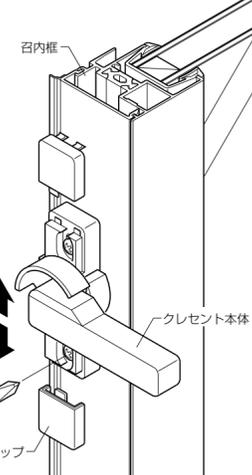
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締め、キャップをしてください。

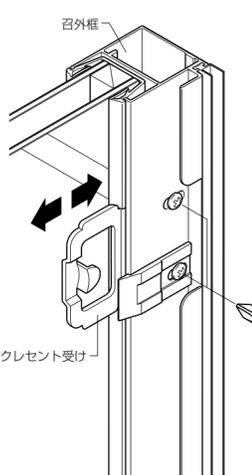
【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】



【左右方向の調整】

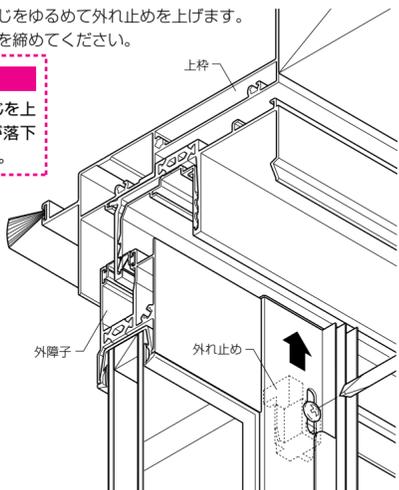


■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

- 必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

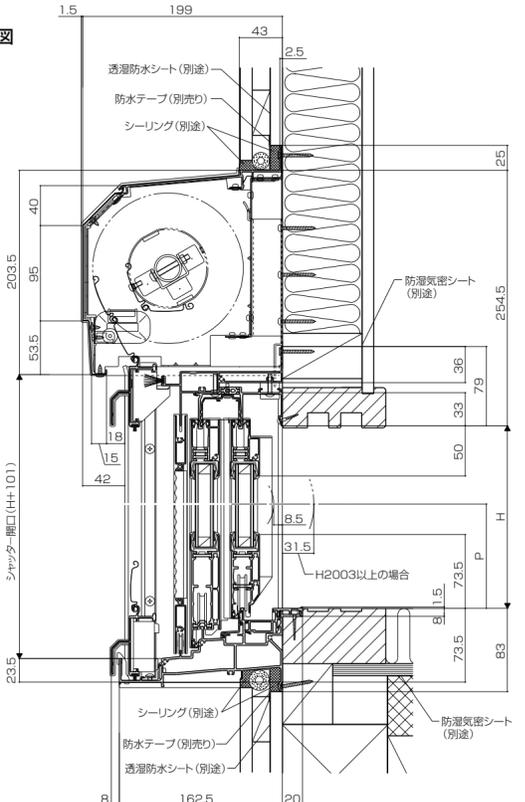


■参考納まり図

※図は本体S型(在来工法)を示します。

【テラスタイプ】

●縦断面図



【W90ガイドレール部】

●横断面図

